

まちのできごと

転ばぬ先の杖



11月9日に秋の火災予防運動の一環として、町内の消防団7分団と南部消防署の早朝訓練が行われました。

また、東大原・西大原・早瀬の3自治会で消火訓練が行われました。

これからの季節、空気が乾燥しますので、今まで以上に火の元に注意し、今回の訓練が無駄になることを願います。

また、錦江町を火災から守るため日夜努力されている消防団の方々に感謝いたします。

100歳、まだまだ元気！



長寿の秘訣は踊り（宮下さん）



家族で100歳のお祝い（遊喜さん）

11月17日、宮下ミチエさん（西中郡自治会）と遊喜資能さんのお二人が、満100歳の誕生日を迎えられ、錦江町や社会福祉協議会から記念品が贈られました。

お二人は明治41年生まれ。

お二人とも100歳を迎えられたとは思えないほど元気で、宮下さんが「元気の秘訣は、踊りや太鼓」と言えば、遊喜さんは「90歳まで現役で働いていたことが今につながっている」と、若者に負けないパワーを感じました。

これからも元気で長生きしてください。

町民全員が元気で長生きできるよう「長寿日本一」を錦江町全体で目指していきましょう。



ばれいしょの 植ええ一番乗り！



みんな並んでいっせいに植ええ

11月22日、馬場地区公民館子ども育成部（通称馬場っ子クラブ）が、山之口自治会の花壇の花植えとばれいしょの植ええを行いました。

これは毎年行っているもので、保護者の手伝いは借りるものの、種切りなどから子どもたちの手で行い、錦江町で一番早く植ええを行います。

毎年、馬場っ子クラブが植ええを始めると錦江町ではばれいしょのシーズンが始まります。

春は花壇に綺麗な花が咲きほこり、田んぼには見事なばれいしょが実をつけることでしょう。

火あそびはしません！



かわいい和太鼓の演奏

11月12日、法輪保育園の園児たちが、火の用心を訴えてパレードを行いました。

保育園から役場本庁舎まで鼓笛隊を先頭に「わたしたちはひあそびをしません」の横断幕を掲げて「戸締り用心！火の用心！」と元気よく行進しました。

役場に到着後は和太鼓の演奏を披露し、火遊びをしないことを誓いました。

園児たちの「火の用心」の願いがかなうよう、火の元には十分に注意しましょう。

カブトムシの楽園



主人公のカブトムシ議長

KKBふるさとCM大賞において、本町の作品がみごと優秀賞に輝きました。

これは、各自治体がふるさと自慢のCMを作成して、その出来を競うもので、本町からは「楽園」のタイトルでカブトムシの住みやすい町、もちろん人間にとっても住みよい町をコンセプトにしたCMを出品し、審査員の方々からも高評価をいただきました。

今後1年間、KKB鹿児島放送で50本のCMが流れますのでぜひご覧ください。また、本町とKKBのホームページでご覧いただけます。